



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介（6地区）

「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和2年1月中）

藤枝地区、熱海地区、富士地区、沼津地区、浜松東地区、下田地区安全運転管理協会では、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年1月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等について協議しました。

【藤枝地区】

1月8日（水）、藤枝警察署、藤枝市役所、交通安全協会地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、藤枝地区安全運転管理協会から会長や役員、本年度推進事業所の東海ガス、藤枝市立病院の安全運転管理者等6人が参加、合計23人により

12月25日（水）の夕方、藤枝市岡部町三輪地先市道で発生した交通死亡事故（オートバイと道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の85歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は信号機のない交差点で、さらに、夕暮れ時に発生しているため、現場診断及び検討した結果

○ 事故現場周辺は街路灯がなく夜間の視認性が悪いため、照明設備の設置や歩行者保護の観点から横断歩道の設置を検討

○ 歩行者やドライバー等地元住民に対する交通事故防止の広報活動を推進するとともに、会員事業所に対しても事故防止対策の徹底を呼び掛け

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】

【熱海地区】

1月9日(木)、熱海警察署、熱海市役所、交通安全協会地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、熱海地区安全運転管理協会から副会長と事務局長等が参加、合計16人により

12月30日(月)午後、熱海市清水町地先の市道で発生した交通死亡事故(乗用車が道路脇の電柱に衝突した単独事故、後部座席の89歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は片側一車線の直線道路で、歩道に乗り上げて道路左脇の電柱に激しく衝突しており、現場診断及び協議を検討した結果

○ 「速度落とせ」など減速を促す道路標示や看板の設置、また死亡事故発生を注意喚起する看板の設置を検討

○ 運転者と同乗者全員のシートベルト着用を周知させる広報啓発活動や、会員事業所に対してもフィードバックして事故防止対策の徹底を呼び掛けなどの事故防止対策に関する意見が出されました。



【署交通課員から交通事故状況を説明】



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】

【富士地区】

1月16日(木)、富士警察署、富士市役所、土木事務所、交通安全協会地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、富士地区安全運転管理協会から役員、事務局長、付近安全運転管理者選任事業所の3人が参加、合計23人により

12月11日(水)の深夜、富士市大淵地先の国道で発生した交通死亡事故(普通乗用車が横転してガードレールに衝突、同乗していた17歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場はゆるいS字カーブで、10代の若者6人の乗車する普通乗用車が何らかの要因で横転しガードレールに衝突しており、現場診断及び協議の結果

○ ハード面では、道路がカーブする予告看板やスピード減速を促す注意看板の設置を検討

○ ソフト面では、ドライバーや地元住民等に対して死亡事故発生等を注意喚起する広報啓発を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故発生現場を確認】

【再発防止対策を協議】



【沼津地区】

1月16日(木)、沼津警察署、沼津市役所、交通安全協会地区支部、国土交通省、自治会等の関係団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から役員及び事務局長等が参加、合計22人により

1月9日(木)の午前、沼津市井田地先の市道で発生した交通死亡事故
(自転車車が路外に転落した単独事故、自転車運転の69歳男性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、ガードレール等の無い道路で、現場診断及び協議の結果

○ 道路にガードレール等の柵を設置、また逸脱防止のため白線を設置

○ 自転車の飲酒運転防止等付近住民等に対する広報・啓発活動を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。

また、地元自治会関係者らが飲酒ゴーグルを着けた歩行の体験を実施しました。



【署交通課員の事故状況説明】



【事故発生現場を確認】



【参加者が再発防止対策を協議】



【飲酒ゴーグルを着けて歩行体験】

【浜松東地区】

1月22日(水)、浜松東警察署、浜松市南区役所、交通安全協会地区支部、土木事務所、自治会等の関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から役員及び事務局長等4人が参加、合計30人により

1月15日(水)の夕方、浜松市南区本郷町地先の国道で発生した交通死亡事故(右折の軽四乗用車と大型バイクが衝突した事故、バイクの23歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場はT字交差点で、国道から路地へ右折しようとした軽四乗用車と国道を走行中の大型バイクが衝突しており、現場診断及び協議の結果

- 路地と交差するT字交差点で信号機がないため、交差点と分り易い看板標示を検討
- 現場診断結果による事故防止対策について、安全運転管理事業所に対する広報・啓発活動を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【参加者らが再発防止対策を協議】

【下田地区】

1月23日(木)、下田警察署、下田市役所、交通安全協会地区支部、道路管理者、地元自治会等の関係団体とともに、下田地区安全運転管理協会から会長及び事務局長等が参加、合計20人により

12月28日(土)、賀茂郡河津町峰地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(普通貨物車が自転車に追突した事故、自転車運転中の93歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は下り坂の左カーブで、自転車が道路左側を走行していたのにもかかわらず、普通貨物自動車に追突しており、現場診断及び協議の結果

○ 下り坂で速度が出やすいため、ドライバーに対して減速を促す注意看板等を設置

○ 現場診断結果による事故防止対策について、安全運転管理事業所に対する広報・啓発活動を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故発生現場を確認】

【参加者が再発防止対策を協議】

